

2005 年 10 月 13 日

05-099B

**「自分だけの特別な一台を」究極のこだわりを満たす最も洗練された車を提供する
BMW Individual(インディビジュアル)を本格導入し
特別パッケージ BMW Individual コンポジション 1 の発売を開始**

ビー・エム・ダブリュー株式会社(本社:千葉市美浜区中瀬 1-10-2、代表取締役:ヘスス・コルドバ)は、最高級の素材を使用し車両の内外装や後席乗員用オプション装備をオーダーメード感覚で特別注文が可能な BMW Individual を本格導入し、トップ・オブ・ザ・ラインに位置する特別パッケージ BMW Individual コンポジション 1 を、BMW 7 シリーズ、6 シリーズ、5 シリーズ(M5, M6 を含む)に設定し、発売を開始します。

BMW Individual コンポジション 1 は、全国の BMW 正規ディーラーにてオーダーが可能で、11 月 1 日(火)より注文の受け付けを開始します。BMW Individual 専任のデザイナーが選りすぐった内外装の組合せが可能なパッケージを用意することと、多岐にわたる選択肢を確保することで、お客様の好みに合わせた「自分だけの特別な一台」を選び易くしました。また、オーダー・プロセスの改善により従来 6 ヶ月程度のオーダーから納車までの期間を約 50% と大幅に短縮することができました。各モデルの BMW Individual コンポジション 1 のメーカー希望小売価格は以下のとおりです。尚 760Li Individual, 650i カブリオレ Individual, 540i Individual の 3 台は第 39 回東京モーターショーの BMW スタンドにて展示予定です。

BMW Individual コンポジション 1 (消費税込み)

BMW 7 シリーズ: 2,300,000 円 ~ 3,500,000 円

BMW 6 シリーズ: 2,100,000 円 ~ 3,100,000 円

BMW 5 シリーズ: 2,200,000 円 ~ 2,900,000 円

BMW M6: 400,000 円

BMW M5: 1,800,000 円

BMW Individual コンポジション 1、BMW Individual リヤ・シート・エンターテインメント・システム、テーブルおよびバー・コンパートメント付 BMW Individual センターコンソール、BMW Individual リーディング・ライト(リヤ)を含む、フル装備の BMW 760Li Individual のオプション装備を含む車両のメーカー希望小売価格は 21,570,000 円(消費税以外の税別、登録諸費用含まず)です。

BMW Individual は BMW の 100% 出資会社 BMW M 社が行う事業分野の一つで、通常用意される仕様、装備に飽き足らない方や希少性の高い自分だけの 1 台を求める方に、最高品質の素材を使用して、BMW Individual 選任デザイナーによる最も洗練された BMW らしいデザインを提供する、まさにワンオフの 1 台を製造する事業の名称です。BMW M 社についての詳細は、添付資料をご覧ください。

BMW Individual は、基本的に内外装に関するカラー、素材、仕様、特別装備品をオーダーすることができますが、コンポジション 1 では、BMW Individual 専用のボディ・カラー、シート/インテリア・カラー、インテリア・トリムが選択可能な上、専用アロイ・ホイールやステアリング・ホイール、ドア・シルなどが装備されます。

さらに BMW Individual では、コンポジション 1 の他にもリヤ・シートで DVD や TV 番組を視聴可能な「BMW Individual リヤ・シート・エンターテインメント・システム」やテーブル、収納ボックス、バー・コンパートメントを選択して付けられる「BMW Individual センター・コンソール(乗車定員 4 人仕様)」、「BMW Individual リーディング・ライト(リヤ)」が BMW Individual オプション装備として選べます。

主な BMW Individual オプション装備(7 シリーズ)と希望小売価格

BMW Individual リーディング・ライト(リヤ)	170,000 円
BMW Individual リヤ・エンターテインメント・システム	1,050,000 円
テーブルおよび収納ボックス付 BMW Individual センター・コンソール	650,000 円
テーブルおよびバー・コンパートメント付 BMW Individual センター・コンソール	850,000 円
ツイン・テーブル付 BMW Individual センター・コンソール	850,000 円

BMW Individual コンポジション 1 の内容(7 シリーズ、モデルにより異なります)

- BMW Individual ボディ・カラー(選択可能)
 - BMW Individual フル・レザー・メリノ(選択可能)
 - BMW Individual フайн・ウッド・インテリア・トリム(グラブ・ハンドルを含む)(選択可能)
 - BMW Individual 象嵌細工ファイン・ウッド・インサート・レザー・ステアリング・ホイール
 - BMW Individual ストレージ・ネット(助手席)
 - BMW Individual アルカンタラ仕上げのルーフ・ライニング
およびリヤ・パーセル・シェルフ(選択可能) *
 - BMW Individual フロア・トリムおよびペロア・フロア・マット(レザー縁取り付)
 - BMW Individual ドア・シル(BMW Individual ロゴ、イルミネーション付)
 - BMW Individual V スポーク・スタイリング 152 I(アロイ・ホイール)
- * BMW Individual 6 シリーズ カブリオレはソフトトップ ブラックとアンソラジットのルーフ・ライニングが装備されます。

BMW Individual ボディ・カラー(モデルにより異なります)

- オパール・ブラック
- ダーク・マラカイト・グリーン
- ダイヤモンド
- ブルー・オニキス
- ルビー・ブラック

BMW Individual のボディ・カラーに使われるのは Xiralli[®]の塗料で、最高級の塗料です。この塗装は傷防止効果が高く、見る角度や周囲の光により違う色に見えるラメ調の効果もあります。

BMW Individual フル・レザー・メリノ シート・カラー (モデルにより異なります)

- ブラック
- プラチナ
- ライト・エクリュ
- ラスト・ブラウン
- シラー・ブルー
- アマロネ
- ゴールド・ブラウン
- ポーラー・グレー
- シャンパン

BMW Individual で使用されるレザーは、皮に傷をつけやすい蚊や虫の少ない南ドイツで生産される牛を材料として使用し、手間はかかりますが専門の職人により染色となめし工程だけを行います。機械によるコーティングやスタンプは一切ないのでレザーそのものが持つ自然の風合いや、模様がそのまま生かされている、真に BMW のオーナーにふさわしい最もラグジュアリーな空間を演出するための素材です。

BMW Individual アルカンタラ・ルーフ・ライニング カラー (モデルにより異なります)

- プラチナ
- エクリュ
- アンソラジット

BMW Individual フайн・ウッド・インテリア・トリム (モデルにより異なります)

- ピアノ・フィニッシュ・ブラック
- ウォールナット・アマロネ
- マホガニー
- ポプラ・ルビー
- ナチュラル・ポプラ
- タモ・アンブラー

BMW のウッド・パネルは木目調(樹脂)パネル等の人工素材とは違い、すべて本物の木を使用していますが、BMW Individual ではさらに厳選された木から選び抜かれた素材のみを使用し、無漂白・無着色で使用し、特殊な染料によって着色する手間をさらに掛けることで自然木の本来持つ深みを出しています。

添付資料:BMW M社について

BMW M:専門カー メーカー

BMW Mは、BMW グループ内にある専門カー メーカーで、高性能指向の開発、製品および販売を担当し、自動車産業界に世界標準を示す企業である。このシンプルな文字Mは、極めてスポーティで高級な車両の開発、物理の法則だけが最後の障壁になるようなドライビング・スキルや自動車産業界において個性的なスタイルを開発することを意味する。この目標を追求するため、BMW Mは活動範囲を次の3部門に集中している。

- BMW M モデル及びM-Sportなどの特別装備品の・設計・開発
- BMW Individual
- BMW ドライバー トレーニング

モータースポーツを起源とする BMW M モデル

BMW Mの起源は、1972年に設立されたBMW Motorsport GmbHである。この名前は偶然の一致ではなかった。ミュンヘンからやって来たツーリングカーは、その新しい赤・紫・青のストライプでサークットでは絶対本命として、1970年代前半には広く認識されていたのである。ひたむきなユーザーが日常走行においてこのようなBMWのパフォーマンスを要求し始めるのに、それほど長い時間はかからなかった。極めて柔軟で情熱が充満していたこの企業は、即座にこの要望に対応したのである。エンジニアは、BMW 5シリーズから取り掛かり、スポーツカーの世界に大きな衝撃を与えたエンジン、サスペンションおよびブレーキ・システムが装備された初代高性能セダンを製造し始めたのである。この哲学は、今日まで一貫して変わらず継承されている。

独自のマーケット セグメントを創出する M モデル

1970年代後半から1980年代にかけて、Mという文字は、M1、M535i、M5、M635 CSi によって、非常に速く、非常に安全で、非常にエレガントな車という同義語に一氣になった。これらのモデルには、4 バルブ システムが採用された直列6気筒エンジンが搭載された。そして、これらの各モデルは、世界の自動車産業界において一気に栄光への階段を上っていった。世界中のファンが今日依然としてこれらの各モデルにすっかり夢中になる理由をどのように説明できるだろう。これらのモデルがそれ自体で伝説として認識されている理由をどのように説明できるだろう。

1986年、上記の初代4モデルに4気筒エンジン搭載モデルが加わった。これが、BMW Motorsport GmbHを成功への道に導いたのである。それが初代BMW M3であった。当初の計画では、レースに対する野望を隠し切れないこれらの2ドア・スポーツカーを5,000台生産する予定であったが、最終販売台数は18,000台にも及んだ。つまり、マーケットは確かに存在したのだ。生産中止になるまでの期間、クーペ、セダンおよびカブリオレの3種類もの異なるモデルが投入された2代目M3によって、実際にその市場はブームとなった。そして、3代目M3、このサクセス・ストーリーを継承するために必要な全ての機能を満載したクーペが今スターティング・グリッドに立った。

M モデルの製品範囲

今日すでに走行している別の極めてダイナミックな3台のモデル、Mロードスター、Mクーペ、そしてM3、M5、M6とともに強力な力になる。1997年に究極のドライブ マシンとして発売されたMロードスターは、Z3ロードスターとM3から継承した321馬力のパワー ユニットとの魅力的なコンビネーションだけではなく、BMW ロードスターの歴史の中でもユニークで比類なき存在である。M クーペもまた、M3 のパワー・ユニットを搭載し、Mロードスターのデザインを基本にしたモデルであるが、非常に特殊な機能が装備されている。もちろん、このモデルはスポーツカーという言葉が持っている直接的な意味においてスポーツカーである。運転する歓びだけではなく、多くの実用価値を提供するボディー構造で、卓越した俊敏性とダイナミックなパフォーマンスを実現したのである。実例を一つ。フルサイズのゴルフバッグを2個、魅惑的なスタイルをしたリヤ セクションに簡単かつ都合よく収納することができる。最後はM5の登場である。最高出力507馬力を発生させるV10エンジンが搭載されたこのモデルは、BMW Mモデルの中のフラッグシップ・カーである。

独立系メーカーとしての BMW M

時が経つに連れて、この特殊な BMW の100%出資会社は販売額だけではなく、責任と従業員数も一貫して増加してきた。このプロセスにおいて業務範囲は完全に変化したのである。新しい社名が求められたのはこのためである。なぜなら、BMW Individual が提供する広範囲の製品によって、自分の車をカスタマイズしたいと希望するユーザーや、BMWドライバー トレーニングに参加したいと考えているユーザーは、"Motorsport GmbH"(モータースポーツ会社)という用語がユーザーの希望を正しく表現しているとは考えなかったからである。"世界最強の文字"としてBMWが社内で定義した伝説の文字M。この文字よりふさわしい文字があつただろうか。そのため、1993年8月1日より、旧モータースポーツ会社は社名をBMW Mと改め認知されるようになったのである。現在BMW Mでは、約500名のスペシャリストが働いており、そのうちの半分はM モデルに従事している。技術開発だけではなく、テストも自社で大々的に行われている。これは、BMW Mが中規模カーメーカーに匹敵するほどの活動範囲を追求していることを意味するのである。そのため、BMW Mのステータスはカーメーカーそのものである。

自動車産業界のあらゆる(ほとんどの)願いを実現する BMW M

1991 年、BMW Individualは、初めての新しい活動として会社にとって重要なクラシック モデルを業務範囲に取り入れたのである。BMWの"レギュラー"モデルの範囲から端を発したこの特別部門は、通常のオプション装備や特別装備品の範囲をはるかに超えたカスタマイズ ソリューションを提供することによって、ユーザーの最も個人的な希望や要望を満たす新しい部門である。特に、特別な塗装やインテリア装備、独自の改造や本格的な通信エレクトロニクス装置などに対する要望が非常に大きい、この種のビジネスに参入し、最高レベルの想像できる限りユーザー指向の製品を提供することによって、BMWは個人のスタイルや性格を重視する最近のトレンドに非常にうまく対応することに成功したのである。

Mのデザイン

BMWは3つのプレミアム・ブランドのみを擁する世界でたった1つの自動車メーカーだが、デザイン部門は5つある。BMW、MINI、ロールス・ロイス、Motorrad(2輪)、そしてMである。M3、M6などの高性能モデルのデザインを手がけるのはもちろん、インテリアのデザイン、および素材を研究、開発している。そしてBMW Individualで使用する素材、色、形、匂いまでも日夜研究・開発を行っている。また、素材の耐久性試験で、約零下50度から摂氏50度くらいの温度試験や、日差しなどによる変色、退行性などの試験も実施する。また不燃性材料であることはもちろん安全性を考え、割れたりしないかなどの素材実験も実施する。また事故などによる修復などのための補修部品の供給が速やかに行われるような体制を整えている。これはMがチューナーではなく、メーカーである明らかな証である。

より安全に運転するためのドライバー・トレーニングを行って32年

BMWドライバー・トレーニングは、スタート直後、1973年からの活動の一つである。それ以来、世界のモータースポーツ界において著名な多くのプロフェッショナルを含むインストラクターは、非常に特殊な"ドライビング・スクール"で32年間ものあいだ、自分たちの専門知識を熱心なドライバーたちに伝えてきたのである(ちなみに、この種の学校としては初めてのことである)。これは、車の運転に関する全ての物理学上の知識を、明確かつ分かりやすく、そして五感に訴えるコミュニケーション方法によって運転に興味をもったドライバーたちに伝える学校である。BMWドライバー・トレーニング内の運転に習熟したプロフェッショナルたちは、年間約20,000名の参加者に車の取り扱い方、特に、安全運転に関する講習を行い、熱心なグループには特別プログラムに焦点を当てながらトレーニングを行っている。